

「根津ランチタイム」を続けて

江戸ソバリエ8期生

日本橋そばの会

岩井 正道

お陰様で「根津ランチタイム」も9月30日で357回となりました。

これは火曜と木曜の週2回の用事があって根津へ行くようになって早4年目に入ったからです。

根津には何か縁があるようで、先ず10年ほど前に根津神社の祭礼で神輿を担ぎました。これは浅草の三社祭りでお世話になっている浅草今半の半纏を仕切っているT氏の関係もあり、彼のお店が根津にあって何度もきました。

また江戸ソバリエ倶楽部の「蕎麦ツアー」で西日暮里から根津まで探索し、「江戸流手打ち蕎麦 蕎麦心」さんの2階で打ち上げをしました。



「蕎麦心」のご主人と



平日メニュー
(天丼せいろセット)

そうそう、9年前に私にとって最初の蕎麦打ちのM先生に連れられて行ったのは、先生の教え子の店「手打ち蕎麦 根津 鷹匠」さんでした。当時の「鷹匠」さんは凄い人気店でいつも混んでいました。

その当時、根津神社入口交差点の「手打ち蕎麦 根津 よし房」さんは、開店したばかりで並ばずに入れました。(現在はいつも待ち列が絶えません)



「鷹匠」
入口アプローチ



せいろと田舎
(太麺)の合盛り



「よし房」入口前

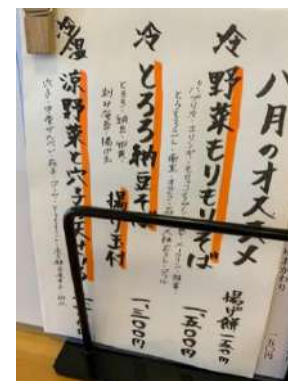


お忙しい中ご主人
蕎麦打ち場でポーズ

3年前の12月に開店した「蕎麦 松風」さんは、生粉打ち(十割)蕎麦で、粉に拘り蕎麦打ちをする者にとっては舌を唸らせる味です。特にこの天ぷらは最高です。両国「江戸蕎麦ほそ川」で修業し、また品川「松風」さんは親戚だそうです。



「松風」ご主人と



毎月のお奨めメニュー

根津ランチタイムでは、前述の蕎麦屋さん4軒ばかりでなく「三里」さん、「手打ち蕎麦やなか」さん等、勿論、カレー屋、ラーメン屋、とんかつ屋、うどん屋、スパゲティ屋、豆腐料理屋や喫茶店など、インド、パキスタン、スリランカやフランスなどの各国料理店等、根津界隈には沢山のお店があり、昼に毎回ワクワクしながら新しい店の発見もあり楽しく食べ歩いています。

ところで357回を振り返りますと何回も訪れている店はやはり蕎麦屋さんが多いです。蕎麦好きという事もあると思いますが、何か惹きつけるものがあるからです。よく「蕎麦は人を繋げる」と言いますが、たぶん蕎麦店のご主人・女将さんや仲居さんやがいつもニコニコ活き活きしていて愛想がいいからでもありましょう。共に人気店であり、味が良いのは勿論ですが、私にとっては店の感じが大好きなのです。

また、東京大学と東京芸術大学に挟まれた谷中・根津・千駄木・池之端界隈は明治から昭和にかけて沢山の文豪たちが住居を構え闊歩し食べ歩いた土地です。言葉では表現出来ない不思議な雰囲気のある街ですから、これからもこの界隈を回って味わい、下町の食文化や歴史を楽しみたいと思います。

以上